



国際規格の動向－国際会議に出席して－

本年は、どのTC(Technical Committee)も対面式の国際会議を復活させており、海外へ出張も増えています。加えて更に審議が必要な開発案件については、Webを活用し臨時で開催されることも多く、国際標準化のスピードアップが図られています。以下に当社に関係する審議について報告します(編集部)。

ISO/TC42(写真)/WG5(画像の保存性) ISO/TC61(プラスチック)/SC6(耐候性)

ISO 18937-2(キセノンアーク試験) スウェーデン・ストックホルム

Ad-hoc Web会議

*喜多英雄

開催日:2023 年 7 月 10 日

参加国:アメリカ・オランダ・スイス・ベルギー・日本

／5 か国 13 名

現在実施中のISO 18937-2(キセノンアーク試験)について、General indoor display条件でのILC(研究所間比較試験)の途中結果が議論された。

ISO/TC35(ペイント及びワニス)/SC9 (一般試験方法)/WG31(硬化後の試験)

ISO 11503(湿潤試験)

Ad-hoc Web会議

*喜多英雄

開催日:2023 年 9 月 21 日

参加国:アメリカ・ドイツ・日本

／3 か国 6 名

ISO 11503(湿潤試験)の改正にあたり、SR コメントについて議論された。現在改正中のISO 6270-2(湿潤試験)の1つの試験条件として追加することが議論された。

次回のISO/TC35は、2024年6月1日～13日にイギリス・ロンドンで開催予定。

【WG2(光暴露)】

開催日:2023 年 9 月 25 日～26 日

参加国:アメリカ・イギリス・韓国・チェコ・中国・ドイツ・フランス・日本

／8 か国 22 名

(1) ISO/DTR 19032(実験室と屋外の耐候性試験のモニタリング、ポリエチレン参照試験片のテクニカルレポート)に関するコメントについて議論した。現在の TR 19032 の内容を Annex に移動し、この文書のタイトルを新しい名前に変更する。

また、ポリエチレン参照試験片の劣化反応について議論があり、修正することとなった。その後、Ad-hoc meeting が10月10日に開催された。

(2) ISO 4892-2(キセノンアーク試験)に追加の乾式/湿式サイクルに関する ILC の結果が説明され、議論された。

また、本規格の改正については、ISO 4892-1(耐候性試験通則)が終わってから行い、来年の WG2 会議で継続的に議論する。

(3) ISO 4892-3(紫外線蛍光灯試験)は DIS 投票中で、2024 年 2 月 22 日に Ad-hoc meeting を開催しコメントを議論する。

*校正部 部長



(4) ISO 4892-4(サンシャインカーボンアーク試験)の改正の可能性について議論があった。CIE 85 から CIE 241 へ参照を変更し、技術的な変更はないため、Minor revision とする。PL は喜多が務め、FDIS を 2024 年 5 月 30 日までに提出する。

(5) ISO/TS 5733(LED による耐光性試験)のコメントについて議論した。PL の喜多がコメントの説明をして、すべて受け入れられ、DTS に進むことになった。10 月 30 日までに案を提出する。

【WG3(諸暴露)】

開催日:2023 年 9 月 25 日

参加国:アメリカ・イギリス・韓国・ドイツ・日本
／5 か国 14 名

(1) ISO/NP 24110(UVC 紫外線とクリープの複合試験)
韓国提案の殺菌用の UVC 照射と機械的ストレス(クリープ)試験について、PL から提案のプレゼンテーションがあり、議論された。
NP 投票終了後、12 月 18 日に Ad-hoc 会議を開催予定。

次回は、2024年9月23日～26日にアメリカ テネシーで開催予定。



IEC/TC61/SC6が開催された
Swedish Institute for Standards(SIS)の会議室

IEC/TC89(電子部品の燃焼性試験) ahG14(グローワイヤ温度測定システム の最適化) Web会議

**片野邦夫

開催日:2023 年 10 月 2 日

参加国:アメリカ・イタリア・オランダ・ドイツ・ポルトガル・日本
／6 か国 13 名

ahG14 はグローワイヤ試験規格におけるグローワイヤ温度測定システムの改善や最新の測定技術の取り込みを目指し設置された。約4年間の活動の中で得られた成果をもとに、規格の改正を TC89/WG12(小規模な熱と炎の試験方法)に提案することとなった。

ISO/TC107(金属及び無機質被膜) /SC7(腐食試験) ドイツ・ベルリン

***須賀茂雄

開催日:2023 年 10 月 12 日

参加国:オランダ・韓国・スウェーデン・中国・ドイツ・
フィンランド・日本
／7 か国 19 名

SC7 議長の伊藤叡氏より、リエゾン関係にある TC156(金属及び合金の腐食)および TC35/SC9(塗料)で審議されている、下記の腐食促進試験規格のトピックスについて説明があった。

- (1) ISO 9227(塩水噴霧試験)
- (2) ISO 10062(ガス腐食試験)
- (3) ISO 21207(塩水・乾燥・ガス 複合サイクル試験)
- (4) ISO 16701(Volvo 複合サイクル試験)
- (5) ISO 11997-1(塩水・乾燥・湿潤 複合サイクル試験)
- (6) ISO 11997-2(塩水・乾燥・湿潤 UV光複合サイクル試験)
- (7) ISO 11997-3(N-VDA 複合サイクル試験)
- (8) ISO 6270-2(湿潤試験)

製造本部プロジェクトT 課長 *代表取締役社長



IEC/TC104(環境条件、分類及び試験方法) イギリス・ロンドン

*喜多英雄

【MT16】

開催日:2023 年 10 月 17 日～18 日

参加国:アメリカ・イタリア・スウェーデン・中国・ドイツ・日本
／6 か国 12 名

(1) IEC 60068-2-60(ガス腐食試験)

改正提案の内容について PL の須賀より説明した。
Warning を追加すること、安全を考慮した試験手順とすることが確認された。

今回の提案内容を、MT16に送り、CD 案を MT16で Review する。

【MT18】

開催日:2023 年 10 月 19 日

参加国:アメリカ・スウェーデン・中国・ドイツ・日本
／5 か国 18 名

(1) IEC 60068-2-5(耐候性試験)

須賀より、CIE 241(太陽光の分光放射照度参照標準)への参照変更をはじめ、修正案を説明した。CD 案を準備する。



IEC/TC104会議が開催されたBritish Standards Institution(BSI)

ISO/TC79(軽金属及び同合金)/SC2 (アルミニウムの陽極酸化皮膜、有機塗膜及び複合皮膜) フランス・パリ

***須賀茂雄

開催日:2023 年 10 月 26 日

参加国:イギリス・サウジアラビア・中国・ドイツ・ポルトガル・日本
／6 か国 20 名

(1) ISO 2135(促進耐光性試験)

SR 投票のイギリスのコメント及び SR 投票後の日本からの追加コメントを基に、須賀が改正提案を行った。様々な表現が使われていた用語を統一すること、繊維の促進耐光性試験規格(ISO 105 シリーズ)から引用して規定すること、などを提案し、大筋合意を得られた。須賀が PL となり、DIS から改正を行うことが決定した。

(2) ISO 10216(像鮮明度測定)

SR 投票の日本のコメントを基に、須賀が改正提案を行った。光源と受光器の規定を見直す提案をし、大筋合意を得られた。須賀が PL となり、DIS から改正を行うことが決定した。

ILC	Inter Laboratory comparison	研究所間比較試験
DTS	Draft Technical Specification	技術仕様書の原案
PL	Project Leader	プロジェクトリーダー
SR	Systematic Review	定期見直し

< ISO/IEC規格発行までの手順 >

PWI	Preliminary Work Item (Project)	予備段階
NP	New Proposal for a work item	提案段階
AWI	Approved Work Item	提案承認段階
WD	Working Draft	作成段階
CD	Committee Draft	委員会段階
DIS*	Draft International Standard	照会段階
FDIS	Final Draft International Standard	承認段階
IS	International Standard	発行段階

※IECではCDV:Committee Draft for Vote

*校正部 部長 ***代表取締役社長